

人間ドックのご案内

information on medical check up

INFORMATION ON MEDICAL CHECK UP

城西クリニック

ごあんない

医療の進歩は、早期発見・早期治療によるがんの完全治癒を実現させる時代を迎えようとしています。一方生活習慣病においても、早期からの生活習慣の改善が有効であることが明らかにされており、各種の健康診断によって自分の健康状態を知っておくことが非常に重要です。

画像診断は、非侵襲的に多くの情報を得ることができ、病変の早期発見に重要な役割を果たし、現在の医療に不可欠な方法として定着しています。特にCT（X線コンピューター断層撮影装置）やMRI（磁気共鳴画像診断装置）の進歩は目覚ましいものがあります。

当院はCT・MRIに特化した群馬県唯一の画像診断専門のクリニックとして、日々診療を行っております。その知見を活かし、健診においてもCT・MRIを使用した特徴のあるドックコースを開設しております。是非ご利用ください。

**早期発見・早期治療で
日々の安心を！**

主な使用機器



MR I 装置：
フィリップス社製
Achieva 3T-TX



MR I 装置：
フィリップス社製
Achieva 1.5T



64列マルチスライスCT装置
GE社製
Revolution EVO ES

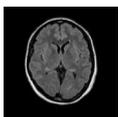


80列マルチスライスCT装置
キヤノン社製
Aquilion Lightning
Helios i Edition

脳MRI・MRAによりくも膜下出血や脳梗塞の予防・早期発見を

日本の三大疾病の一つである脳卒中の患者数は現在約150万人と言われ、がん・心臓疾患に続く死因の第3位になっています。脳卒中は脳の動脈が詰まったり（脳梗塞）、詰まった血液のかたまりが3時間以上たってから溶け、再び開通することにより出血（出血性梗塞＝脳内出血）することで引き起こされます。どれも脳に重大なダメージを与え、最悪の場合死に至ります。また一命を取り留めても、重度の後遺症が残る場合もあります。これらの病気は、発症する前の自覚症状がほとんどありません。事前に脳ドックで、脳と脳の血管に異常がないかをよく調べておくことが重要です。MRI検査は、約30分寝ているだけで脳の断面や脳血管を見ることができます。

■検査項目



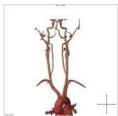
①頭部MRI

脳断面の撮影を行います。脳にかくれ脳梗塞、出血性梗塞や腫瘍などがないかなど調べます。



②頭部MRA

脳血管の撮影を行います。脳の動脈に狭窄、閉塞、奇形や動脈瘤がないかなど調べます。



③頸部MRA

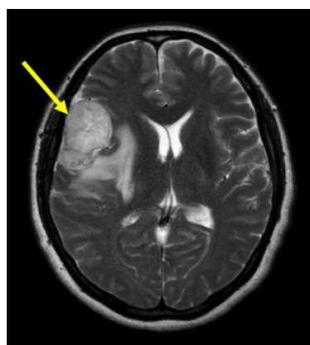
胸～頸部の脳動脈を撮影し、脳卒中の原因となる狭窄がないかなど調べます。

※ 当院は画像診断専門クリニックのため、**MRI検査のみ**（採血・超音波検査等はなし）の簡易脳ドックとなります。あらかじめご了承ください。

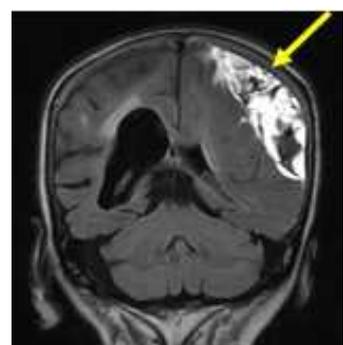
■症例画像



脳血管3D画像：
矢印部に動脈瘤が見られる



脳断面画像：
矢印部に腫瘍が見られる



脳断面画像：
慢性硬膜下血腫例（矢印部）

★このような方におすすめ

- ・喫煙される方
- ・脂っこい食事が好きな方
- ・飲酒の多い方
- ・運動不足の方
- ・肥満気味な方
- ・高血圧や糖尿病の既往がある方
- ・ご家族にくも膜下出血など脳の病気の既往がある方 など

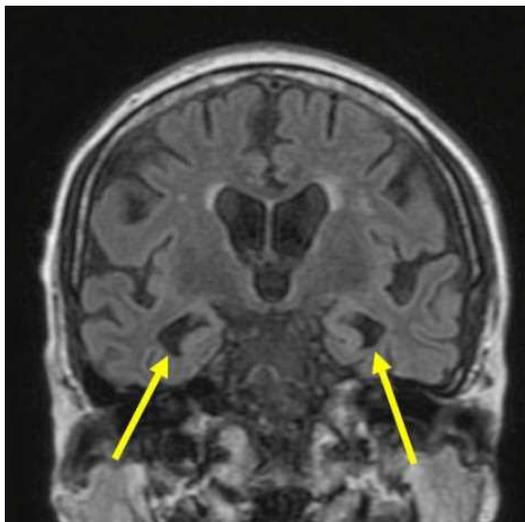
脳卒中の5大危険因子：高血圧・糖尿病・脂質異常症・不整脈・喫煙と言われています。（国立循環器病研究センター・循環器病情報サービスより）当てはまる方はぜひ脳ドックをお勧めします。

オプションコース

物忘れ検査（海馬萎縮度測定）

追加料金 2,200円

アルツハイマー病に代表される認知症を早期に発見するため、脳の萎縮を測定する検査です。通常のMRI検査に加え細かな断面を撮影し、画像を認知症診断支援ソフト（VSRAD）で解析し、海馬の萎縮度を数値で表します。



アルツハイマー病の例：MRI画像では強い海馬の萎縮が認められる（矢印部）



VSRAD解析結果は『2.27』と「萎縮がかなり見られる」数値である

心臓MRI検査で突然死の原因“心筋梗塞”などの早期発見を！

突然死の中で最も多いと言われているのが、狭心症・心筋梗塞に代表される「虚血性心疾患」です。この病気は、心臓を動かすために必要な血液を送る「冠動脈」が徐々に細くなり、必要な血液が行き渡らなくなり、ある日突然激しい痛みを生じ最悪の場合死に至ります。血管がつまる原因は動脈硬化や血液のかたまり（血栓）によるもので、生活習慣が大いに関係しています。

心臓ドックでは、この冠動脈をMRIで撮影します（冠動脈MRA検査）。造影剤・放射線被ばくもなく、撮影を行うことが可能です。また心臓の動き・大きさ・弁の状態なども同時に観察します。検査は60分ほどかかります。

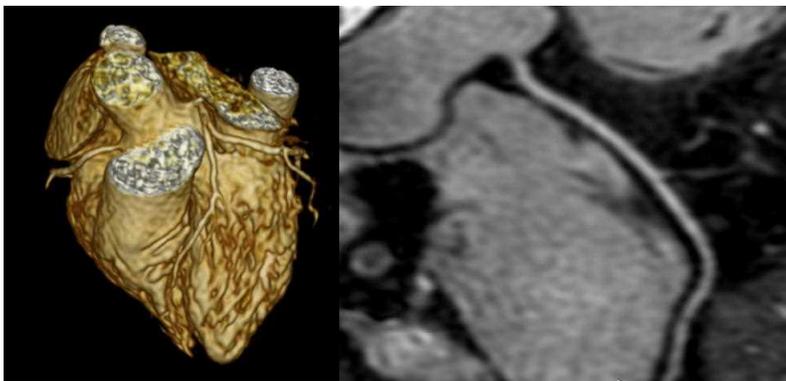
■検査項目



心臓MRI

心臓MRI（冠動脈MRA+心臓シネ撮影）で冠動脈の撮影を行います。またシネ撮影で、心臓の動きや弁の状態を動画で観察することができます。

■MRI画像（正常例）



冠動脈MRA画像

（左：3D画像、右：右冠動脈の2D画像）

オプションコース

胸部・腹部大動脈撮影

追加料金 5,500円

症状の出にくい腹部大動脈瘤などの早期発見に効果的です。

★このような方におすすめ

- ・ 高血圧・糖尿病・高脂血症と言われたことのある方
- ・ 喫煙される方 ・ 飲酒の多い方 ・ 運動不足の方
- ・ 日々ストレスを感じている方 ・ ご家族に心臓病の既往のある方

低被ばくCTによる診断で、肺がんの早期発見を！

2016年の統計では、日本人の肺がん死亡者は約5万2千人と言われ、男性ではがん死亡原因の1位、女性でも大腸がんに次いで2位となっています。しかし無症状のうちに検診を受診し、早期のうちに治療できれば約7割が治るといふ報告もあります。通常の胸部レントゲン検査では心臓の影に隠れて見えない場所もあり、早期の肺がんの発見には限界があります。しかしCT撮影では、非常に薄い断面の肺の画像が得られ、その診断精度は格段に向上します。また検査も非常に簡単で5分程度で行えます。

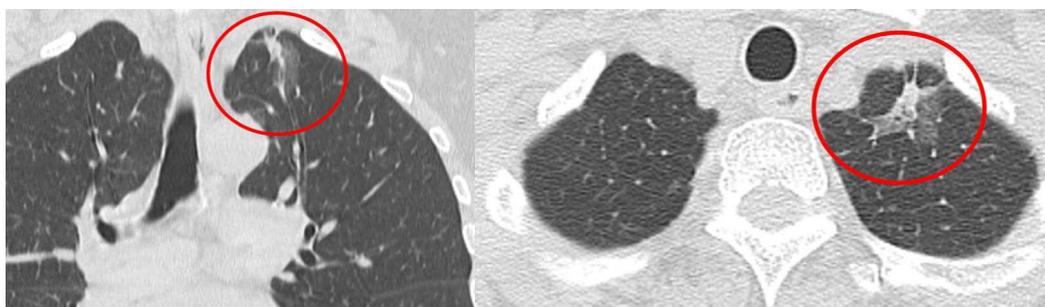
■検査項目



胸部CT

胸部の断面を撮影し、肺がん・その他の胸部疾患の有無を調べます。

■症例画像



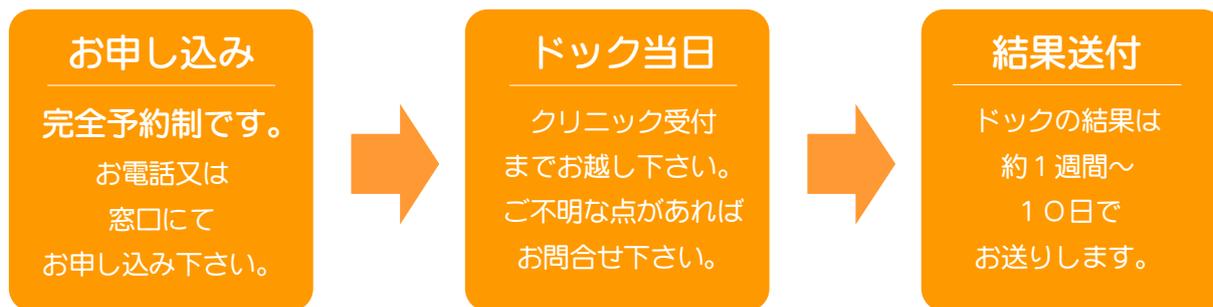
早期肺がんのCT画像（赤丸部分）：左の肺に約2cmの淡い陰影が認められる。早期の肺がん症例で、レントゲンでは検出できない非常に淡い陰影である。

★このような方におすすめ

- 喫煙される方、特に喫煙指数（一日喫煙本数×喫煙年数）が400以上の方（肺がんのハイリスクグループとされます）、
- 肺がんの家族歴がある方（肺がんになる危険性が2倍と報告があります）
- ご自身は喫煙していなくても、受動喫煙が気になる方 など

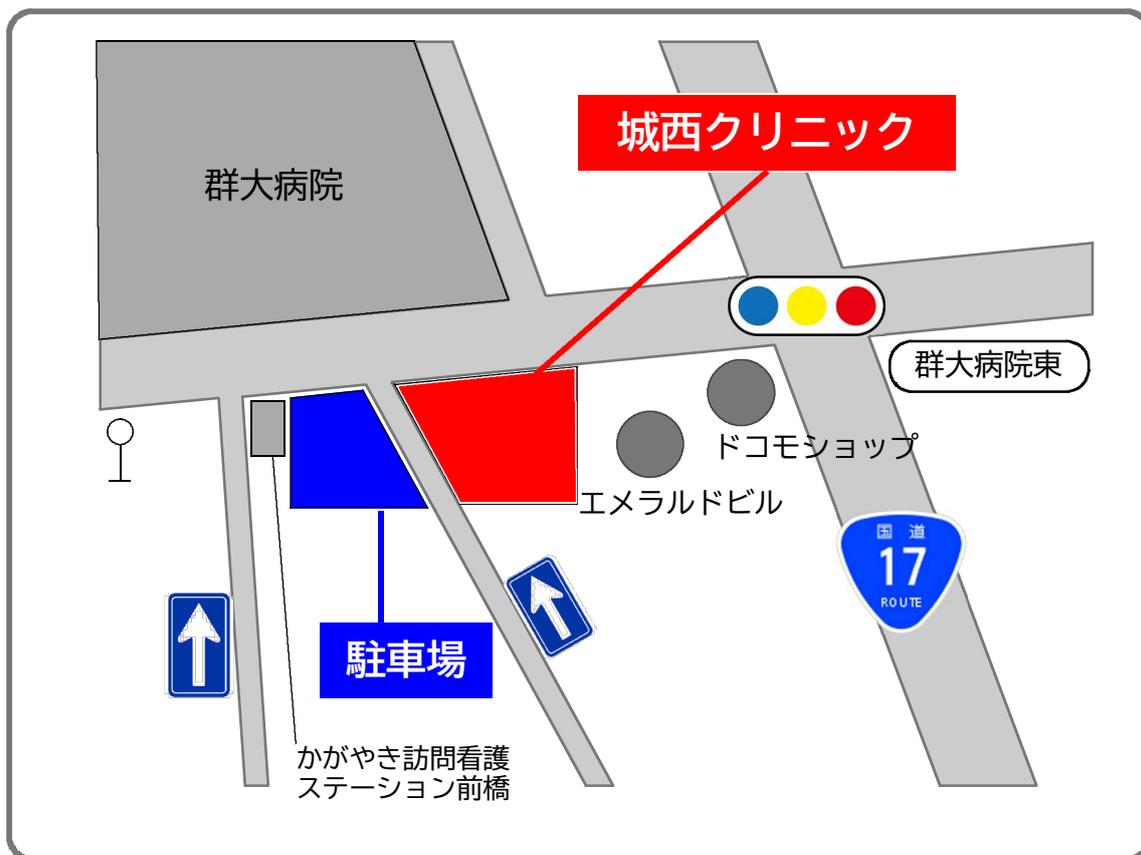
当グループは「肺がんCT検診認定機構」の認定技師が在籍し、「日本CT検診学会」の推奨に基づいて、最低限のX線線量でCT撮影を行っております。最小の被ばくで、安心してCT検査をお受けいただけるよう精度管理に務めております。

■お申し込み方法



●結果は郵送になりますが、ご希望の方は後日医師による結果面談説明も可能です
(有料税込み5500円・月曜または木曜) 詳細はお問い合わせください。

■交通アクセス



■ご予約・お問合せは

 社会医療法人輝城会 **城西クリニック**

所在地：群馬県前橋市国領町二丁目13番23号

電話：027-234-7321

FAX：027-234-7325

受付時間：9:00～17:00

(第1・第5土曜午後、日曜、
祝日、年末年始を除く)

<https://kijokai.or.jp/josai-clinic/>

